

平成 23 年 3 月 15 日

NDC日本ドライケミカル株式会社

計画停電に伴う消防設備への影響について

ご存知の通り、この度の東北地方太平洋沖地震により、電力会社において計画停電が実施されておりますが、本件に伴う一般的な消防設備への影響についての留意事項を下記の通りお知らせいたします。

一般的な消防設備には、非常電源／予備電源（以下、非常電源とします）が設置されており、停電時には自動的に非常電源へ切り替わります。

<水／泡系消火設備>

スプリンクラー設備、屋内／屋外消火栓、泡消火設備等の水／泡系消火設備には下記の通りポンプ起動用の非常電源が設置されております。

◆ 自家発電設備／蓄電池設備の場合：

自家発電設備／蓄電池設備は 30 分間の作動容量を確保しております。

◆ 専用受電設備の場合：

専用受電設備の場合は、今回のような電力会社からの電力供給停止時には非常電源の供給が出来なくなります。

<ガス系消火設備>

不活性ガス消火設備やハロン消火設備等のガス系消火設備の非常電源は、60 分間の監視容量と 60 分間の作動容量を確保しております。

<自動火災報知設備>

自動火災報知設備の非常電源は、60 分間の監視容量と 10 分間の作動容量を確保しております。

<誘導灯>

誘導灯の非常電源は、20 分間又は 60 分間の作動容量を確保しております。

<停電時の注意事項>

長時間の停電時には、非常電源の放電により電源が確保できない可能性がありますので、火のお取り扱いには十分ご注意ください。

又、消火器の設置箇所や使用方法、避難経路を事前に再確認いただき、不測の事態に備えていただくようお願いいたします。

ガス系の消火設備については、起動容器又は貯蔵容器の手動操作も可能ですので、取扱説明書等にて事前のご確認をお願いいたします。

<停電復旧後について>

停電が復旧し、通常の電力が再供給されると、自動的に消防設備の電源も復旧いたします。

<その他>

弊社消火設備制御盤の一部では、常用電源停止時に警報ブザーが鳴動する機種があります。ブザーが鳴動した場合はブザー停止スイッチの操作により、ブザーを停止してください。又、停電復旧後に「異常」表示が出る場合は、復旧スイッチの操作により通常状態に戻してください。

その他、特殊な消防設備や、ご不明な点につきましては、点検を依頼されている業者様又は HP 掲載の弊社支店／営業所までお問合せくださいますようお願いいたします。

以上